2026年11月13日

各　位

会　社　名　　株　式　会　社　ニ　レ　コ
代表者名　代表取締役社長　中杉　真一
（コード番号：６８６３ 東証スタンダード）
問い合わせ先　取締役執行役員管理部門長
佐々田　卓也
（TEL 042-642-3111）

2027年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想と実績の差異に関するお知らせ

2026年５月14日に発表いたしました2027年３月期第２四半期（中間期）累計期間の連結業績予想と本日発表の実績値に差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

１.2027年３月期第２四半期（中間期）累計期間の連結業績予想と実績の差異
（2026年４月１日～2026年９月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	１株当たり中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想(A)	5,800	730	780	590	27.48
実績値(B)	6,275	960	1,011	818	38.12
増減額(B－A)	475	230	231	228	-
増減率(%)	8.2	31.5	29.6	38.6	-
(ご参考)前期第２四半期実績(2026年３月期中間期)	5,051	728	758	502	22.60

（注）当社は、2026年８月１日付で普通株式１株につき３株の割合で株式分割を行っております。
１株当たり中間純利益は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

２.差異の理由

当中間連結会計期間は、半導体製造・検査装置業界向け光学部品の旺盛な需要が継続したことに加え、レーザ装置の販売及び応用光研工業株式会社の光学結晶事業の寄与などにより、オプティクス事業の売上高及び利益が想定を上回りました。また、制御機器事業の鉄鋼・非鉄金属分野で収益性の高い製品の販売割合が高かったこともあり、営業利益が想定を上回る結果となりました。さらに、資本効率の改善に向け、投資有価証券の売却を行ったことから、特別利益 238 百万円を計上したこともあり、各利益項目は前回発表予想を上回りました。

なお、2027年３月期通期の連結業績予想及び期末配当予想につきましては、現在までの業績進捗や株式会社YGKのグループ入りの影響などを踏まえ、本日公表の「2027年３月期通期業績予想の修正および中期経営計画「NIRECO-VISION 100」の数値目標変更（上方修正）ならびに期末配当予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおり修正しております。

以　上